

行財政改革前期実施計画の見直しについて

令和6年4月に本市の今後10年間の行財政改革の指針となる「第3次出雲市行財政改革大綱」を定めるとともに、この具体的な取組を記載した「出雲市行財政改革前期実施計画」を策定し、取組を進めているところです。

令和8年度は、実施計画の中間年にあたることから、これまでの取組状況をふまえ、財政効果目標額等の見直しを行う予定です。

1. 行財政改革前期実施計画について

(1) 計画期間

令和6年度から令和10年度まで（大綱期間の前期5年間）

(2) 財政効果目標額の設定

令和3年度に策定した財政計画における計画期間中の収支不足額が約7億6千万円であることから、財政効果目標額を8億円と設定（各年度の目標額は1億6千万円と設定）

(3) 個別の取組項目の設定

- ・各取組は可能な限り財政効果額を算出
- ・財政効果額として把握ができない取組も、業務の効率化や市民サービスの向上などにつながるものは、取組項目として設定

(4) 財政効果額の算出方法

- ・本計画期間の前年である令和5年度を基準として、その差額等により算出
- ・効果が決算比較等で測れない取組は、単年度の数値等を用いて算出

2. 行財政改革前期実施計画の見直しについて

(1) 財政効果目標額の見直しについて

①計画策定時の目標額について

- ・令和3年度に策定した財政計画では、令和6年度から令和10年度までの5年間で約7億6千万円の収支不足を見込んでおり、この不足額は、財政調整基金及び減債基金から繰り入れることにより収支の均衡を図っています。こうしたことから、財政効果の目標額は8億円と設定しています。

（単位：百万円）

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	合計
歳入①	78,998	78,249	78,140	77,480	75,778	388,645
歳出②	79,138	78,373	78,266	77,705	75,920	389,402
差引①－②	△140	△124	△126	△225	△142	△757
基金繰入額	140	124	126	225	142	757

②目標額の見直しについて

- ・令和6年12月に新たな財政計画を策定しており、この計画では、計画期間中の収支不足額が約32億円となりました。
- ・令和6年度決算額及び令和7年度当初予算額を反映すると、収支不足額は約34億円となり、当初設定した目標額と乖離が生じていることから、目標額の見直しが必要になっています。

(単位：百万円)

年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	合計
	決算	当初予算	財政計画			
歳入①	97,793	90,844	89,790	87,895	86,022	452,344
歳出②	95,458	92,044	90,320	88,551	86,373	452,746
差引①－②	2,335	△1,200	△530	△656	△351	△402
基金繰入額	700	1,200	530	656	351	3,437

(2) 個別の取組項目の見直し

計画策定から2年が経過し、新たに財政効果額が見込める取組については、新規の取組項目として追加するとともに、以下の考え方にそって見込額の見直しを行います。

- ① 令和6年度の実績で財政効果額として計上した取組のうち、「今後も財政効果が継続する取組」について、計画期間中の見込額に新たに計上します。

※例：施設の民間譲渡に伴う維持管理費の減などによる財政効果額

- ② 令和6年度の実績で財政効果額として計上した取組のうち、「今後も財政効果額が見込める取組」について、計画期間中に計上している見込額の見直しを行います。

※例：地籍調査の手法の見直し、AI・RPAによる業務の効率化などによる財政効果の見込額

3. 今後のスケジュール（予定）

令和8年7月下旬 第1回行財政改革審議会
以降、2～4回の開催を予定
令和9年4月 前期実施計画の改訂